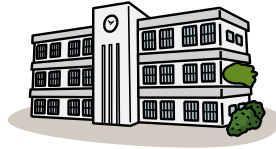


# チャレンジ!



水戸市立梅が丘小学校  
第6学年だより No.10  
令和4年11月1日

## 「梅式家庭学習」のすすめ

保護者の皆様には、日頃より本校教育にご理解ご協力をいただきましてありがとうございます。

先日行われた職業調査では、保護者ボランティアの方々のご協力もあり、無事終わることが出来ました。現在、グループの友達と協力しながら Google スライドにまとめている最中です。また、卒業アルバムの写真撮影もほぼ終了し、アルバムに掲載する「思い出の一文」も終え、次は、実行委員を中心に卒業文集に取り掛かろうとしているところです。

さて、表題にも掲げた「梅式家庭学習のすすめ」ですが、小学校生活も残り5ヶ月となり、中学校に進学するにあたり、家庭学習の在り方を見直そうと考えています。

学校から「与えられた学習」をこなすだけではなく、自分自身で得意不得意を見極め、目標や課題を設定して計画し、実践、振り返りをして新たな課題を見だし、また取り組む。このような「自ら学ぶ習慣」を中学生になるまでに改めて確実に身に付けさせたいと考えています。

11月から、次のような取組を行っていきますのでご協力をお願いいたします。

### 1 家庭学習カード

・カードの提出 → 廃止。理由：計画ではなく、実施したことを記入しているケースが多い。自宅で記入ではなく、学校で記入している様子も時々見受けられる。計画・実践・振り返り・新たな計画のサイクルが難しい。

・新たに「Google カレンダー」を活用する。

①学校に登校した後、1日の学習予定を立てる。

→自宅でも計画してもかまいません。後々、1日ではなく、1週間の予定を立てられるようになると思います。

→すでに、試しに取り組んでいるクラスもあるかもしれませんが、

国語：ピンク 算数：水色 理科：クリーム色 社会：薄茶色 英語：黄緑

図工・音楽・体育・家庭・その他雑学的なこと：グレー

のように色付けすると、取り組んでいる教科の様子が分かりやすいかもしれません。

②担任が、子どもの学習予定を確認する。

③保護者の方は、お子さんの Google カレンダーを定期的にご覧になり、取組の様子を見てください。また、あわせて、自主学習ノートにどのくらい書き込んでいるか、ご確認ください。

### 2 自主学習ノート

・今まで活用してきた1冊を続けて使用する。または、2冊に分けて使用する、など。

〈内容〉●「ばっちりメニュー」

国語・算数・理科・社会・外国語について学習する。

●「わくわくメニュー」

音楽・図工・体育・家庭・その他（自分の好きなこと、興味のあることなど）

・内容例（プリントに印刷したものは、別紙参照）

・漢字・計算ドリルは、「ばっちりメニュー」の国語や算数に入れる。今まで使用してきた漢字や計算ノートを引き続き使用可。ドリルは、新出漢字の練習や計算練習のために授業の中で使用することがあります。そのため、今まで同様、ドリルは毎日持たせてください。新出漢字の学習の際は、「とめ・はね・はらい」をしっかりと確認したいと思います。

### 3 タブレット PC の持ち帰り

- ・基本、毎日持ち帰ります。自主学習で、教科書の QR コードやドリルパークを上手に活用できることを期待しています。自宅の PC を使用する場合は、持ち帰らなくても構いません。その場合は、個人カードを持ち帰ります。自宅に持ち帰った場合は、充電をしてきてください。

#### 〈保護者の方へお願い〉

タブレット PC の持ち帰りに関しては、自主学習（調べ学習）を行う上でも有効ですが、気を付けなければならない点がいくつかあります。

##### ①使用する時間を決める。

「Meet」を活用して、夜何時でも友達とチャットで会話ができます。画面で友達の顔を見ながら会話ができるわけです。自主的に学習計画を立てるため、自主学習（調べ学習）を行うためにタブレット PC を持ち帰るわけですから、ご家庭でも使用する目的について話し合ってくださいと思います。

自主学習後、または、自主学習中でも「(例)20 時には、親に預ける」など、時間を決めておくといいと思います。

##### ②ユーチューブなど制限あり。

インターネットでいろいろな調べ学習が出来ますが、ユーチューブなど一部制限がかかっています。教育上必要のないものなどは、つながらないようになっています。

##### ③友達と同時に作業出来る。

①でチャットについて記載しましたが、Google スライドなど、同時に作業出来る都合上、作業中にチャットで友達と相談することが出来ます。その場合のチャットは構わないと思います。

学習は、「受け身」ではなく、「自主的・自発的に」。

「宿題がなくなる」のではなく、

「自分に合った課題を自分で見つけて取り組む」のです。

担任は、「一斉宿題」ではなく、

「個々に合った課題」を助言・指導していきます。

「家庭学習カードの確認」→「Google カレンダーの確認」

「漢字・計算ドリルノート、自主学習ノートの確認」→「自主学習ノートの確認」

ご家庭では、今まで通り、

「家庭学習カードの確認」→「Google カレンダーの確認」

「漢字・計算ドリルノート、自主学習ノートの確認」→「自主学習ノートの確認」

プラス「タブレット PC 取り扱いの約束」の徹底 をお願いします。